

NYダウ・トリプル・レバレッジ (愛称：3σ)

運用報告書(全体版) 第5期

(決算日 2025年3月31日)

(作成対象期間 2024年3月30日～2025年3月31日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式／特殊型(ブル・ベア型)	
信託期間	2020年3月30日～2030年3月29日	
運用方針	日々の基準価額の値動きがダウ・ジョーンズ工業株価平均(配当込み、米ドルベース)の値動きの3倍程度となることをめざして運用を行いません。	
主要投資対象	ベビーファンド	米国の株価指数先物取引、米国の債券、わが国の債券およびダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	円建ての債券
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、日々の基準価額の値動きがダウ・ジョーンズ工業株価平均(配当込み、米ドルベース)の値動きの3倍程度となることをめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますようお願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先(コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (税引後配当込み、米ドルベース)		株式 組入比率	株式 先物比率	公社債 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率				
	円	円	%		%	%	%	%	百万円
1 期末 (2021年 3月29日)	29,140	0	191.4	15,518	55.2	—	305.7	—	1,577
2 期末 (2022年 3月29日)	33,541	0	15.1	16,616	7.1	—	296.0	—	4,256
3 期末 (2023年 3月29日)	22,617	0	△ 32.6	15,631	△ 5.9	—	300.7	—	3,727
4 期末 (2024年 3月29日)	35,948	0	58.9	19,493	24.7	—	295.7	14.8	2,828
5 期末 (2025年 3月31日)	34,169	0	△ 4.9	20,617	5.8	—	300.2	22.6	2,469

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (税引後配当込み、米ドルベース) は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

(注6) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

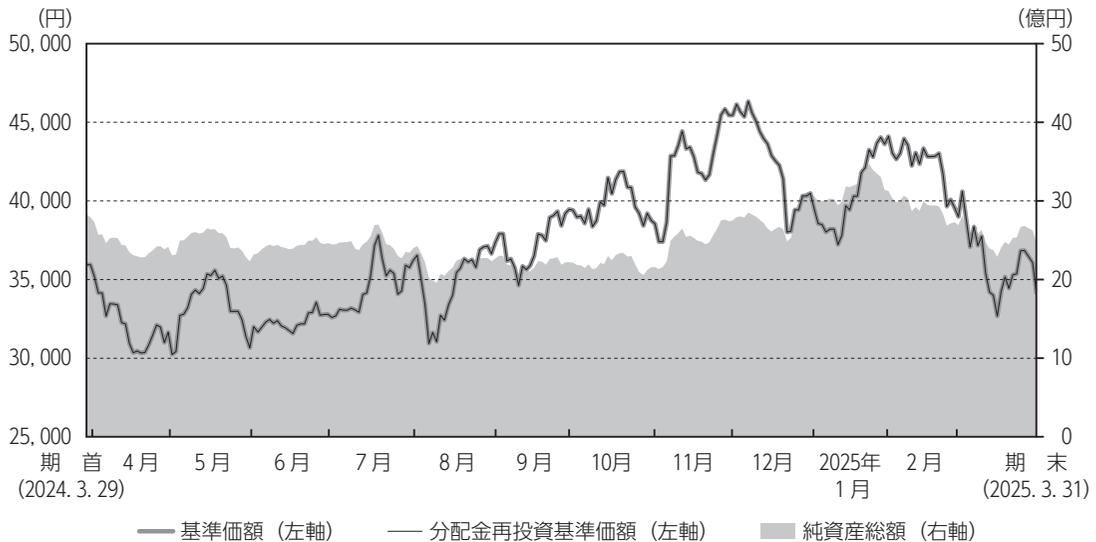
(注7) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。

ダウ・ジョーンズ工業株価平均は S&P Dow Jones Indices LLC またはその関連会社 (「SPDJ」) の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P[®]、S & P 500[®]、US 500、The 500、iBoxx[®]、iTraxx[®] および CDX[®] は、S&P Global, Inc. またはその関連会社 (「S & P」) の商標です。Dow Jones[®] は、Dow Jones Trademark Holdings LLC (「Dow Jones」) の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスは SPDJ に付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。NYダウ・トリプル・レバレッジは、SPDJ、Dow Jones、S & P、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、ダウ・ジョーンズ工業株価平均のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- * 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期首：35,948円

期末：34,169円（分配金0円）

騰落率：△4.9%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

日々の基準価額の値動きがダウ・ジョーンズ工業株価平均（配当込み、米ドルベース）の値動きの3倍程度となることをめざした運用を行った結果、米国株式市況が上昇したことはプラス要因となりましたが、レバレッジファンドの特徴で、株式市況が上昇・下落を繰返しながら推移したことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。

NYダウ・トリプル・レバレッジ

年 月 日	基 準 価 額		ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (税引後配当込み、米ドルベース)		株 式 組入比率	株 式 先物比率	公 社 債 組入比率
	円	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
(期首)2024年3月29日	35,948	—	19,493	—	—	295.7	14.8
4月末	31,649	△ 12.0	18,808	△ 3.5	—	301.7	10.6
5月末	30,661	△ 14.7	18,708	△ 4.0	—	298.1	12.0
6月末	32,792	△ 8.8	19,241	△ 1.3	—	300.1	10.1
7月末	36,235	0.8	20,031	2.8	—	300.4	26.6
8月末	37,343	3.9	20,351	4.4	—	299.3	21.1
9月末	39,456	9.8	20,857	7.0	—	300.1	14.6
10月末	38,529	7.2	20,785	6.6	—	305.8	14.8
11月末	45,452	26.4	22,086	13.3	—	299.4	24.7
12月末	39,473	9.8	21,254	9.0	—	301.8	20.4
2025年1月末	44,102	22.7	22,200	13.9	—	298.2	31.8
2月末	38,994	8.5	21,407	9.8	—	300.9	25.1
(期末)2025年3月31日	34,169	△ 4.9	20,617	5.8	—	300.2	22.6

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2024. 3. 30 ~ 2025. 3. 31)

■米国株式市況

米国株式市況は、大幅に上昇後、景気減速や関税引き上げへの懸念により下落しましたが、通して見ると上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、インフレ率の低下傾向を受けて利下げ期待が高まったことなどから上昇し、高成長が期待されるAI（人工知能）関連企業の株価急騰が相場をけん引して高値を更新しつつ、2024年7月半ばまで上昇基調で推移しました。しかし7月後半に入ると、対中輸出規制強化への懸念などから、半導体関連株主導で下落しました。さらに8月初旬には、雇用統計が市場予想よりも弱い内容であったことから景気の先行きに対する不透明感がにわかに強まり、急落しました。その後は、経済指標の改善や利下げ開始を強く示唆したFRB（米国連邦準備制度理事会）議長の発言などを好感し、急反発しました。9月中旬以降は、実際にFRBが0.50%ポイントの利下げを決定したことなどもあり、上昇基調で推移しました。11月初旬の大統領選挙でトランプ元大統領が勝利し、景気の先行きに対する期待が高まったことも、上昇基調を後押ししました。12月中旬には、FRBが0.25%ポイントの利下げを決定した際、今後の利下げペースの減速が示唆されたことで長期金利が上昇し、これを嫌気して株価は小幅に下落しました。しかし2025年1月中旬以降は、CPI（消費者物価指数）が市場予想を下回り長期金利が低下したことや良好な企業決算などが好感され、株価は再び上昇しました。2月下旬以降は、経済指標の悪化やトランプ政権による関税引き上げへの懸念の強まりから下落し、当作成期末を迎えました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

当ファンドの運用方針に基づき、主として、米国の債券、わが国の債券および「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」の受益証券に投資するとともに、株式の組入総額と株価指数先物取引の買建玉の時価総額の合計額が、原則として、信託財産の純資産総額の3倍程度になるように調整することにより、日々の基準価額の値動きがダウ・ジョーンズ工業株価平均（配当込み、米ドルベース）の値動きの3倍程度となることをめざします。また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2024. 3. 30 ~ 2025. 3. 31)

当ファンド

米国の株価指数先物取引の買建玉の時価総額が、信託財産の純資産総額の3倍程度となるよう調整しました。「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」の受益証券への投資も行いました。また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

米国の株価指数先物取引については、E-mini ダウ先物取引を利用しました。米国の株式への直接投資は行っておりません。

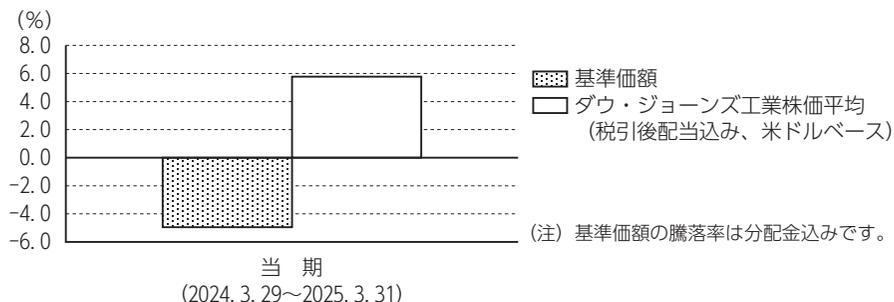
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期は、信託財産の成長に資することを目的に、収益分配を見送らせていただきました。
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2024年 3月30日 ～2025年 3月31日	
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	24,168

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。



今後の運用方針

■当ファンド

当ファンドの運用方針に基づき、主として、米国の債券、わが国の債券および「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」の受益証券に投資するとともに、株式の組入総額と株価指数先物取引の買建玉の時価総額の合計額が、原則として、信託財産の純資産総額の3倍程度になるように調整することにより、日々の基準価額の値動きがダウ・ジョーンズ工業株価平均（配当込み、米ドルベース）の値動きの3倍程度となることをめざします。また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2024. 3. 30～2025. 3. 31)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	412円	1. 106%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は37, 285円です。
(投 信 会 社)	(201)	(0. 539)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(201)	(0. 539)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(10)	(0. 028)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	19	0. 051	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(先物・オプション)	(19)	(0. 051)	
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	2	0. 006	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(0)	(0. 000)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(2)	(0. 005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0. 000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	433	1. 162	

(注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

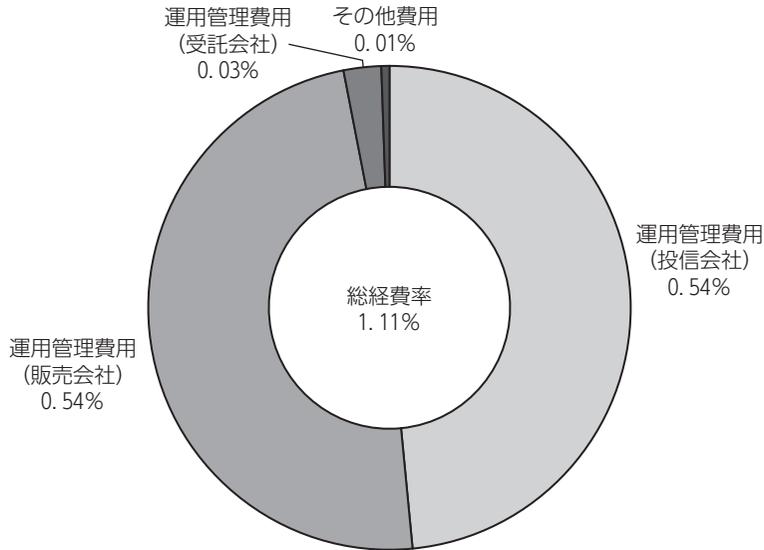
(注 3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.11%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2024年3月30日から2025年3月31日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・マネー ポートフォリオ・ マザーファンド	2,788,476	2,793,587	2,592,800	2,597,489

(注) 単位未満は切捨て。

■先物・オプション取引状況等

先物取引の銘柄別取引状況・残高状況

(2024年3月30日から2025年3月31日まで)

銘 柄 別		買 建		売 建		当 作 成 期 末 評 価 額		
		新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額	買 建 額	売 建 額	評価損益
		百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
外 国 株 式	DJIA MINI E-CBOT (アメリカ)	43,127	43,828	—	—	7,415	—	△69

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

(1) ベビーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

(2) マザーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

(2024年3月30日から2025年3月31日まで)

区 分	当 期			期		
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	116,465	14,607	12.5	—	—	—
コール・ローン	5,199,386	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合1.6%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 当作成期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期中における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券株式会社です。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネーポート フォリオ・マザーファンド	734,339	930,014	932,339

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2025年3月31日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	932,339	36.1
コール・ローン等、その他	1,651,713	63.9
投資信託財産総額	2,584,053	100.0

- (注1) 評価額の単位未満は切捨て。
 (注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、3月31日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=149.52円です。
 (注3) 当期末における外貨建純資産(840,611千円)の投資信託財産総額(2,584,053千円)に対する比率は、32.5%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2025年3月31日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	3,420,172,787円
コール・ローン等	734,405,388
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド(評価額)	932,339,702
未収入金	843,107,413
差入委託証拠金	910,320,284
(B) 負債	950,466,999
未払金	909,917,269
未払解約金	25,759,768
未払信託報酬	14,716,143
その他未払費用	73,819
(C) 純資産総額(A-B)	2,469,705,788
元本	722,797,043
次期繰越損益金	1,746,908,745
(D) 受益権総口数	722,797,043口
1万口当り基準価額(C/D)	34,169円

- *期首における元本額は786,966,527円、当作成期間中における追加設定元本額は1,167,478,067円、同解約元本額は1,231,647,551円です。
 *当期末の計算口数当りの純資産額は34,169円です。

■損益の状況

当期 自 2024年3月30日 至 2025年3月31日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	25,255,666円
受取利息	1,133,927
その他収益金	24,121,739
(B) 有価証券売買損益	△ 27,109,517
売買益	234,950,672
売買損	262,060,189
(C) 先物取引等損益	△ 302,765,984
取引益	609,446,884
取引損	912,212,868
(D) 信託報酬等	△ 28,085,403
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	△ 332,705,238
(F) 前期繰越損益金	106,427,060
(G) 追加信託差損益金	1,973,186,923
(配当等相当額)	(879,447,448)
(売買損益相当額)	(1,093,739,475)
(H) 合計(E+F+G)	1,746,908,745
次期繰越損益金(H)	1,746,908,745
追加信託差損益金	1,973,186,923
(配当等相当額)	(879,447,448)
(売買損益相当額)	(1,093,739,475)
分配準備積立金	106,427,060
繰越損益金	△ 332,705,238

- (注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
 (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
 (注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。
 (注4) 投資信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用:2,913,972円(未監査)

■収益分配金の計算過程(総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	1,640,481,685
(d) 分配準備積立金	106,427,060
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	1,746,908,745
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	1,746,908,745
(h) 受益権総口数	722,797,043口

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

<補足情報>

当ファンド（NYダウ・トリプル・レバレッジ）が投資対象としている「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」の決算日（2024年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2025年3月31日）現在におけるダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの主要な売買銘柄

公 社 債

2024年3月30日から2025年3月31日まで

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
1258国庫短期証券 2024/12/23	32,596,486		
1277国庫短期証券 2025/3/31	31,088,809		
1239国庫短期証券 2024/9/24	29,999,850		
1296国庫短期証券 2025/6/30	22,780,118		

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2025年3月31日現在におけるダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド（37,980,597千円）の内容です。

(1)国内（邦貨建）公社債（種類別）

区 分	2025年3月31日現在						
	額 面 金 額	評 価 額	組入比率	う ち B B 格 以 下 組 入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	千円 22,800,000	千円 22,780,118	%	%	%	%	%
			59.8	—	—	—	59.8

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注3) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2)国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

2025年3月31日現在						
区 分	銘 柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
国債証券	1296国庫短期証券	%	千円 22,800,000	千円 22,780,118	2025/06/30	
		—				

(注) 単位未満は切捨て。

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

運用報告書 第16期 (決算日 2024年12月9日)

(作成対象期間 2023年12月12日～2024年12月9日)

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

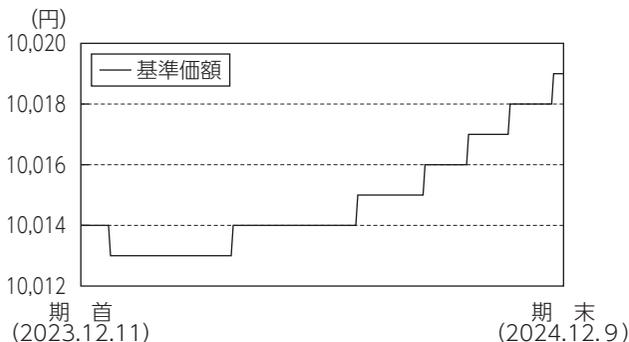
運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	
(期首)2023年12月11日	円	%	%
12月末	10,014	0.0	-
2024年1月末	10,013	△0.0	-
2月末	10,013	△0.0	-
3月末	10,013	△0.0	56.8
4月末	10,014	0.0	55.6
5月末	10,014	0.0	58.1
6月末	10,014	0.0	54.0
7月末	10,015	0.0	54.0
8月末	10,016	0.0	55.0
9月末	10,017	0.0	60.0
10月末	10,018	0.0	59.1
11月末	10,018	0.0	62.9
(期末)2024年12月9日	10,019	0.0	62.9

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
 (注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,014円 期末：10,019円 騰落率：0.0%

【基準価額の主な変動要因】

短期の国債およびコール・ローン等の利回りが低位で推移したことなどから、基準価額はおおむね横ばいとなりました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期首より2024年2月までは、日銀のマイナス金利政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りはおおむねマイナス圏で推移しました。その後、3月に日銀はマイナス金利政策を解除しましたが、緩和的な金融環境が継続する中、国庫短期証券（3カ月

物）の利回りは低位で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用	-
合 計	-

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。
 (注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2023年12月12日から2024年12月9日まで)

		買 付 額	売 付 額
国 内	国債証券	千円 95,595,643	千円 -(63,000,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
 (注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
 (注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2023年12月12日から2024年12月9日まで)

当		期	
買	付	売	付
銘	柄	銘	柄
	金 額		金 額
	千円		千円
1219国庫短期証券	2024/6/24		32,999,307
1258国庫短期証券	2024/12/23		32,596,486
1239国庫短期証券	2024/9/24		29,999,850

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
 (注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

区 分	当 期		期 末			
	額面金額	評 価 額	組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率	
	千円	千円	%	%	%	%
国債証券	32,600,000	32,599,453	62.9	-	-	62.9

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
 (注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
 (注3) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

区 分	銘 柄	年 利 率	当 期			期 末
			額面金額	評 価 額	償還年月日	
		%	千円	千円		
国債証券	1258国庫短期証券	-	32,600,000	32,599,453	2024/12/23	

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2024年12月9日現在

項 目	当 期		期 末
	評 価 額	比 率	
	千円	%	
公社債	32,599,453	62.9	
コール・ローン等、その他	19,265,458	37.1	
投資信託財産総額	51,864,911	100.0	

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2024年12月9日現在

項 目	当 期	期 末
(A) 資産		51,864,911,730円
コール・ローン等		19,265,458,266
公社債(評価額)		32,599,453,464
(B) 負債		2,765,000
未払解約金		2,765,000
(C) 純資産総額(A-B)		51,862,146,730
元本		51,764,911,701
次期繰越損益金		97,235,029
(D) 受益権総口数		51,764,911,701口
1万口当り基準価額(C/D)		10,019円

* 期首における元本額は62,579,567,123円、当作成期間中における追加設定元本額は19,540,096,318円、同解約元本額は30,354,751,740円です。
 * 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：
 ダイワ米ドル・ブルファンド (適格機関投資家専用) 48,964,798円
 ダイワ米ドル・ベアファンド (適格機関投資家専用) 3,520,288,985円
 ダイワ・マネーポートフォリオ (FOF s用) (適格機関投資家専用) 1,089,639円
 ダイワJリートベア・ファンド (適格機関投資家専用) 595,752,000円
 米国国債プラス日本株式ファンド2021-01 (部分為替ヘッジあり/適格機関投資家専用) 1,518,511円
 米国国債プラス日本株式ファンド2021-07 (部分為替ヘッジあり/適格機関投資家専用) 1,993,906円
 ダイワ/パリュウ・パートナーズ チャイナ・ヘルスケア・フォーカス 9,976円
 通貨選択型 米国リート・αクワトロ (毎月分配型) 1,346円
 通貨選択型アメリカン・エクイティ・αクワトロ (毎月分配型) 1,346円
 オール・マーケット・インカム戦略 (資産成長重視コース) 1,973円
 オール・マーケット・インカム戦略 (奇数月定額分配コース) 1,973円
 オール・マーケット・インカム戦略 (奇数月定率分配コース) 1,973円
 オール・マーケット・インカム戦略 (予想分配金提示型コース) 1,973円
 NYダウ・トリプル・レバレッジ 1,079,436,135円
 世界セレクトティブ株式オープン (為替ヘッジあり/年1回決算型) 998円
 世界セレクトティブ株式オープン (為替ヘッジあり/年2回決算型) 998円
 NASDAQ100 3倍ベア 675,399,527円
 ポーレン米国グロース株式ファンド (資産成長型) 998円
 ポーレン米国グロース株式ファンド (予想分配金提示型) 998円
 トレンド・キャッチ戦略ファンド 9,977円
 AHLターゲットリスク・ライト戦略ファンド (適格機関投資家専用) 8,076,387,870円
 ダイワJGBベア・ファンド2 (適格機関投資家専用) 37,760,624,420円
 ダイワ/ロジャース国際コモディティTM・ファンド 2,417,017円
 ダイワ/フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド (通貨選択型) 日本円・コース (毎月分配型) 998円
 ダイワ/フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド (通貨選択型) ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 998円
 ダイワ/フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド (通貨選択型) アジア通貨・コース (毎月分配型) 998円
 ジャナス・ヘンダーソン・バランス・ファンド (為替ヘッジなし/資産成長型) 999円
 ジャナス・ヘンダーソン・バランス・ファンド (為替ヘッジあり/資産成長型) 999円
 ジャナス・ヘンダーソン・バランス・ファンド (為替ヘッジなし/年4回決算型) 999円
 ジャナス・ヘンダーソン・バランス・ファンド (為替ヘッジあり/年4回決算型) 999円
 ダイワ米国債7-10年ラダー型ファンド・マネーポートフォリオ - USTRیانگل - 997,374円
 * 当期末の計算口数当りの純資産額は10,019円です。

■損益の状況

当期 自2023年12月12日 至2024年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	27,861,093円
受取利息	29,709,921
支払利息	△ 1,848,828
(B) 有価証券売買損益	82
売買益	82
(C) 当期損益金(A + B)	27,861,175
(D) 前期繰越損益金	85,071,521
(E) 解約差損益金	△44,514,349
(F) 追加信託差損益金	28,816,682
(G) 合計(C + D + E + F)	97,235,029
次期繰越損益金(G)	97,235,029

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。